

水質調査の結果報告 / 日本大学工学部 長林教授

南湖の水質汚濁の実態把握、地域住民の水質保全・浄化に向けての啓発などを目的とし、昨年度から日本大学工学部長林教授の協力のもと、市民グループ、福島県、白河市の学民官の協働による水質調査（1年間）が実施され、その報告と質疑応答が行われました。

水質調査の歩み

第1回：平成16年 8月 5日（木） 第4回：平成17年 1月18日（金）
 第2回：平成16年 9月15日（水） 第5回：平成17年 4月28日（木）
 第3回：平成16年11月17日（水） 第6回：平成17年 6月23日（木）
 池干し：平成16年12月 1日（水） 第7回：平成17年 7月28日（木）
 ：この他、市民団体によるバックテストも実施されております。



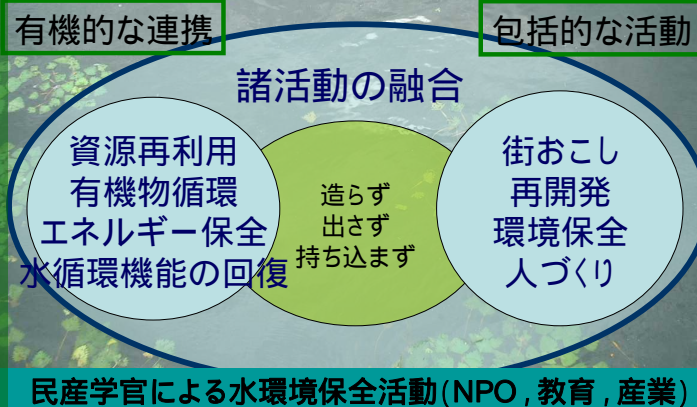
南湖の水質改善対策

(1) 流入負荷削減対策

- ・谷津田川の負荷抑制対策
 - ・流入区間における自然浄化機能の増大
 - ・湿原や葦原による汚濁物質の沈降、吸収による負荷削減
- ### (2) 湖内浄化機能の活用による水質改善
- ・流入部への葦復元による汚濁物質の補足効果の増大
 - ・抽水性、沈水性植物（ヒシ、カナダ藻など）の計画的な管理による植物の栄養塩類摂取量の増大
 - ・客土による底泥の巻き上げ抑制にともなう負荷削減
 - ・客土による植生相の変化を十分に検討する必要あり

望ましい水環境に向けて

持続可能な展開



日本大学工学部の長林教授の説明資料より抜粋

水質調査対策等プロジェクトでは、水質調査結果について、広報紙づくりに取り組みます。乞うご期待！

市道南湖線通行規制社会実験のお知らせ / 市道南湖線通行規制社会実験協議会

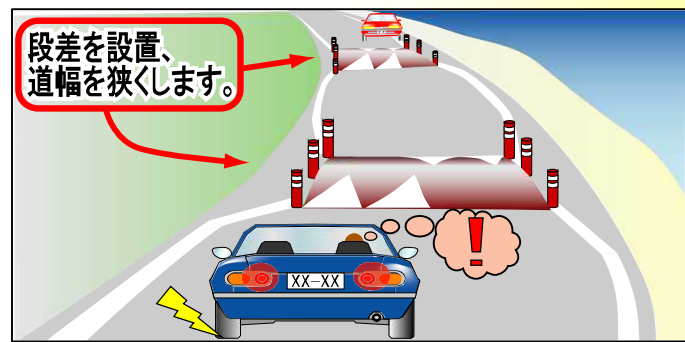
本年度は10月20日から3ヶ月間（予定）、市道南湖線の社会実験（段差設置による通り抜け車両を減らす実験）が予定されています。

目的と内容

市道南湖線を通り抜ける車の台数を減らすことを目的に、車が通り抜けにくくなるように路面に多数の段差を設けて、その部分の道幅を狭くします。



段差を設置、道幅を狭くします。



社会実験中に、こんなことも行います。
 南湖周辺道路の交通量の調査（実験前と実験中）
 周辺住民の方々や公園利用者へのアンケート調査

社会実験って何？
 新しい施策を導入する前に、あらかじめ場所と期間を限定して施策を試行し、結果を評価して本格的に導入するかどうかの判断材料を得るものです。

ワークショップの活動目標とスケジュール

本年度のワークショップでは、参加した皆さんで活動目標を検討し、スケジュールの確認をしました。

作業内容・目的

プロジェクト毎の本年度の活動目標・方針・スケジュールを検討・確認し、最終的な成果のイメージをメンバー全員で共有しました。

水質浄化対策等プロジェクト

目標：水質調査結果を広く広報し、有効な水質浄化対策を調査し、実行の可能性を探る。

活動内容

- ・水質調査結果の広報紙づくり・・・第2回WS
- ・浄化対策の可能性について調査・・・第3回WS



散策ルート対策等プロジェクト

目標：来園者の興味をひきつけ、わかりやすい散策見所マップを作成し、マップの利活用を検討する。

活動内容（第2、3回）

- ・初心者用の案内図作成
- ・上級者用の散策マップ（見所、ルートマップ）作成



ネットワークづくりプロジェクト

目標：市民のネットワークづくりの一環として、南湖で開催している行事・活動の年表を作成する。

活動内容（第2、3回）

- ・新しい団体への呼びかけ、行事・活動情報の収集
- ・南湖での行事・活動年表の作成



第2回のワークショップ（南湖公園現地で実施）から、プロジェクト毎に始動します。
 第4回のワークショップで各プロジェクトの成果を発表します。